

作品を紹介する田辺さん＝岡崎市明大寺町で

写真de散歩

6

昭和15年当時の籠田町の中心街



昭和15年当時の籠田町の中心街

岡崎地方史研究会所蔵

写真右下に「昭和15年当時の籠田町の中心街」とあるので、岡崎市の籠田公園の85年前の風景ということになる。現在の公園にこんなに賑やかな商店街があったのかと驚く。通りの南から北を撮ったもので、「年の市」「連合大売出し」などの幟（のぼり）が立ち、年の瀬である。右手前の立て看板は「柴田屋洋品店」と読める。『岡崎空襲体験記』の「籠田公園の空襲前地図」によれば、柴田屋洋品店の手前に丸藤旅館、不動銀行があり、左手に「きぬ屋」、その向こうが「奥田食料品屋」と続く町並みであった。和装の女性たちはウインドーショッピングを楽しみながら北隣の連尺通りへ。サラリーマン風の男性はこの先にある岡



「祈りの心」で描く

岡崎の
葵丘 田辺さんが個展

岡崎市洞町の主婦・田辺公子さん(69)が岡崎市明大寺町のギャラリー「葵丘」で個展を開いている。「祈りの心」を胸に筆を走らせたペン・鉛筆画計50点や、これまで刻んだ仏像8体を紹介している。12日まで。

対象は異なるものの、全ての作品には「平和」や「家族」への思いが通底している。「空間を同じくしながらむつみ合う存在は、全て『家族』になる」と信じて創作に取り組む。認知症の父親との出来事を記した随筆と作品のコラボ展示や、1本の木の下に憩う動物たちを描いた象徴的な1枚もある。1年7カ月をかけて描き上げた力作もあるが、重視するのは技術よりも心の在り方だ。田辺さんは「私が介護を経験した時のよう

50人が手品など楽しむ

県年金者協会
岡崎支部
会員のつどい

愛知県年金受給者協会岡崎支部は7日、岡崎市民会館で「会員のつどい」を開いた。約50人が参加し、市長寿課予防係の職員から健康長寿に関する講話を聞いたり、手品師のシ

BBS会が市民福祉大学を初開催

19日岡崎

岡崎保護区BBS会は19日午後1時30分から岡崎市社会福祉センターで、まちづくりについて考える取り組み「世代をこえて学び合うまち・市民福祉大学」を初開催する。

当日は、障害児向け放課後デイサービス施設や就労継続支援B型

ヨーを見た手品ショーを楽しむ会員りして楽しんだ。

内田勝支部長は「9月末時点の会員は375人。そのうち会費納入者は339人で、昨年から43人減っている。これ以上減らさなために、新規会員の勧誘をさつした。お願いしたい」とあい



10日(友引)

0-769

1へ。

勢